



第七次
筑紫野市総合計画

ひとが輝き 自然が息づく 住み続けたい幸福実感都市

令和6年度 ▶ 令和9年度



⑥ 将来都市像と7つの政策

将来都市像「ひとが輝き 自然が息づく 住み続けたい幸福実感都市」を実現するため、次の7つの政策を定めま
す。また、政策の実現に向けて28の施策、111の基本事業を設定し、まちづくりを進めます。



⑥ 第七次筑紫野市総合計画における重点施策

将来都市像を実現するためには、7つの政策と、政策の実現手段である28の施策すべてを着実に進めていく必要
があります。しかしながら、本市を取り巻く様々な環境変化等に的確に対応し、実効性のあるまちづくりを進めて
いくためには、限られた経営資源を適切に配分する選択と集中が不可欠です。このことから、計画期間内で特に力
を入れて取り組む「重点施策」を5つ設定し、人的・財政的資源の重点配分を行い、特に成果の向上を目指します。

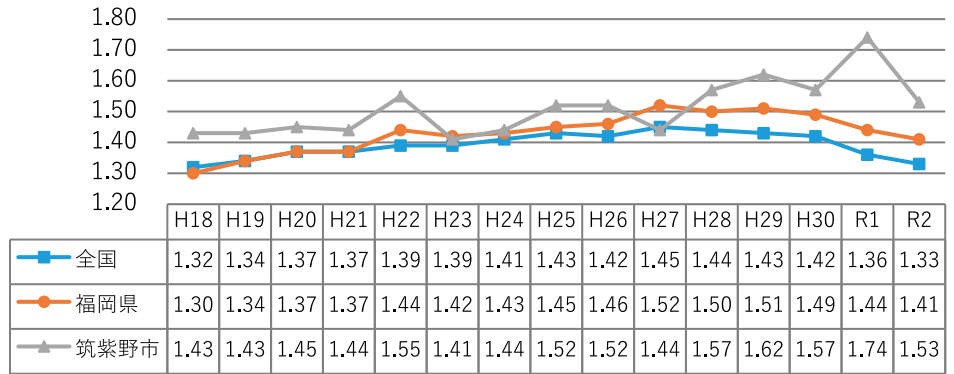
5つの重点施策

- 重点施策1 **こどもまんなか社会の実現 ～子育て支援と教育の充実～** (施策1-基本事業1、施策2-基本事業1~3)
- 重点施策2 **豊かな心と絆を育むスポーツの振興** (施策4-基本事業1~2)
- 重点施策3 **地域包括ケアシステムの推進** (施策14-基本事業1~4)
- 重点施策4 **持続可能で安全安心な公共交通の構築** (施策23-基本事業3)
- 重点施策5 **市民の声をかたちにする広報・広聴の推進** (施策25-基本事業1,3)

人口動向と将来展望

出生率の推移

筑紫野市の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数）は全国及び福岡県平均と比較してやや高い状況で推移していますが、将来的に人口を維持していくために必要とされる2.07には届いていません。



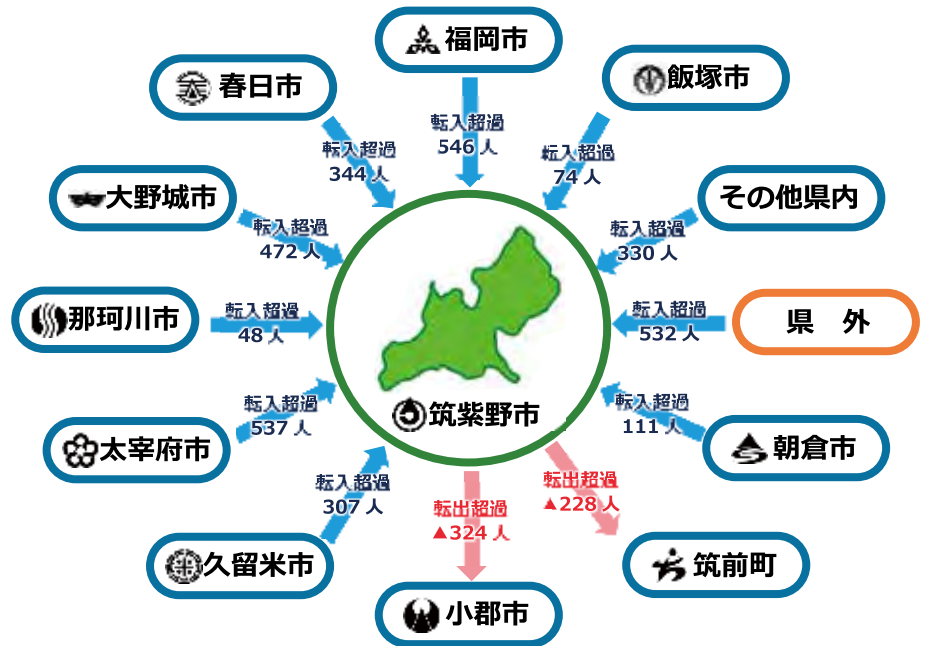
資料：人口動態調査（全国、福岡県）、福岡県保健環境研究所算出データ（筑紫野市）

人口移動の状況

筑紫野市の平成30（2018）～令和4（2022）年の間の人口移動は、転入・転出ともに県内移動が約6割、県外移動が約4割という状況です。

県内移動においては、転入・転出の多くが近隣自治体間のものとなっています。

過去5年間の人口移動に伴う社会増減数は、県内・県外ともに転入超過となっており、筑紫野市へ人口が流入している状況です。



資料：福岡県の人口と世帯年報

人口の将来展望

人口の将来展望の仮定条件

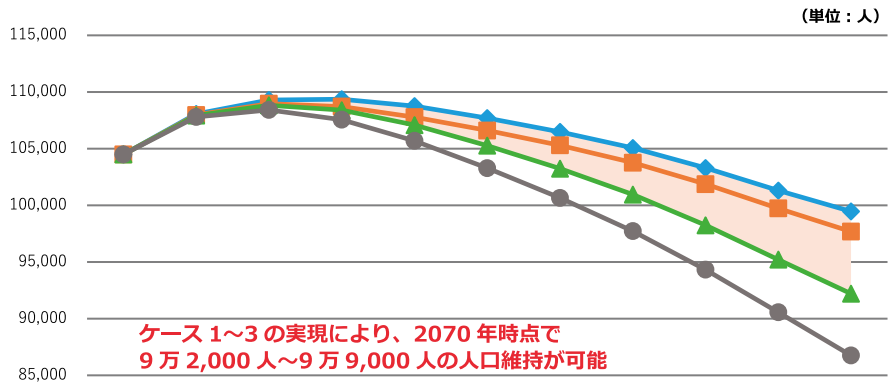
ケース	合計特殊出生率	純移動率
1	2030年：1.8達成 2040年：2.07達成	2017年10月～2022年9月の5年間の平均純移動率から、筑紫駅西口土地区画整理事業の完了等の環境変化を勘案して、転入超過に係る移動率を▲60%として仮定
2	2035年：1.8達成 2045年：2.07達成	
3	2040年：1.8達成	
市独自	2015～2019年の5年間の平均値1.588で推移	

※合計特殊出生率 1.8

若い世代の、結婚・子育ての希望を実現した場合に向上が見込まれる出生率です。

※合計特殊出生率 2.07

将来的に人口を維持していくために必要とされる出生率（人口置換水準）です。



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
ケース1	104,497	108,070	109,300	109,370	108,760	107,700	106,490	105,070	103,300	101,310	99,470
ケース2	104,497	107,980	108,980	108,720	107,790	106,610	105,300	103,770	101,880	99,740	97,700
ケース3	104,497	107,930	108,830	108,400	107,090	105,270	103,250	100,960	98,250	95,220	92,210
市独自推計	104,497	107,800	108,420	107,560	105,700	103,290	100,660	97,730	94,330	90,570	86,760

⑤ 第七次筑紫野市総合計画の策定にあたって

本市は、昭和 47（1972）年 4 月の市制施行以来、緑豊かな自然と交通の利便性、そして万葉の頃から続く歴史や文化といった環境や特性を活かして成長を続けてきました。今では市制施行当時の約 2.6 倍となる 10 万 6 千人が暮らすまちへと発展を遂げています。

一方、この間、多くの自治体で少子高齢化による人口減少が進み、2050 年には市区町村のうち 95.5%の自治体で 2020 年より人口が減少するものと見込まれるなど、人口減少問題はより一層厳しさを増しています。また、各地で頻発する大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、さらにはウクライナ情勢等の影響により足元で続く物価の高騰など、私たちを取り巻く社会経済情勢はかつてないほど激しく急速に変化しています。

こうした状況の中、複雑・多様化する市民ニーズや地域課題に的確に対応し、計画的かつ安定的な市政運営に取り組むため、将来を見すえた今後のまちづくりの指針として、「第七次筑紫野市総合計画」を策定しました。

基本構想では、「人」と「自然」、そして「まち」の調和という本市のまちづくりの理念を継承しながらも、時代の変化に柔軟に対応し、いつまでも住み続けたいと思える持続可能なまちを目指すべく、「ひとが輝き 自然が息づく住み続けたい幸福実感都市」という将来都市像を定めるとともに、基本計画では、7 つの政策のもと、28 の施策、111 の基本事業を体系化し、それぞれの目指す姿を掲げることによって、具体的な取組の方向性を示しています。

この計画を市民、事業者、さらには筑紫野市とゆかりをもつ多くの皆さまと共有し、地域コミュニティを中心とした協働のまちづくりを進めながら、「住みたいまち日本一」の実現に向けて邁進してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、まちづくりワークショップやアンケートなど様々な機会を通じて貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆さま、熱心にご審議いただきました筑紫野市総合計画審議会の皆さま、そして多大なご尽力をいただきました関係団体の皆さまに、心から感謝申し上げます。

令和 6 年 4 月 筑紫野市長 平井 一三



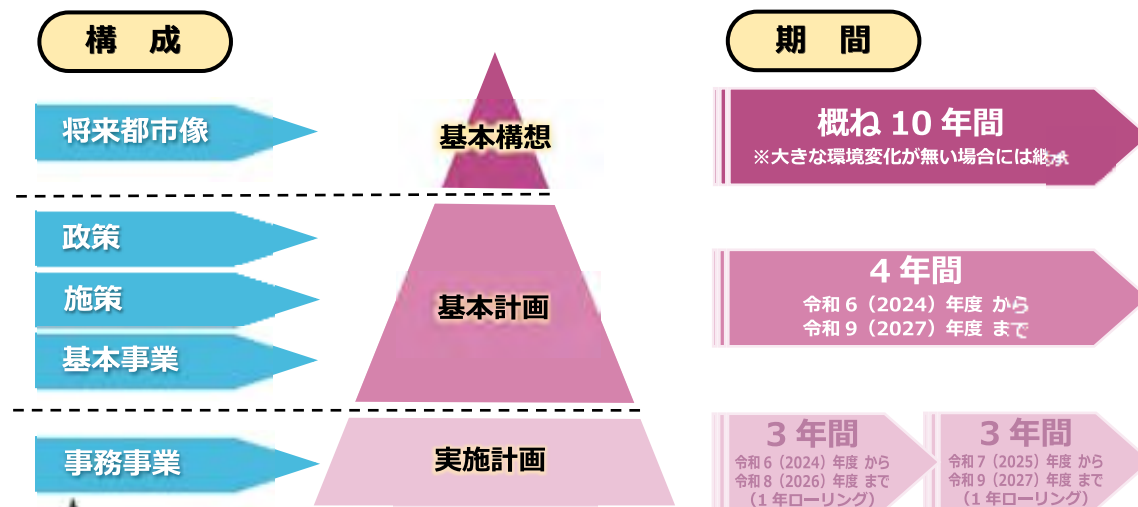
⑥ 総合計画の概要

総合計画は、市が目指す姿やその実現に向けた環境変化及び課題等を市民と共有し、まちづくりに向けた様々な取組をバランス良く効率的に進めていくための基本的な指針となるもので、市政全般における政策や施策等を体系化したものです。第七次筑紫野市総合計画策定の基本姿勢及び計画の構成と期間については以下の通りです。

計画策定の基本姿勢

- (1) 時代の変化に対応できる実現性の高い計画
- (2) 目指すまちの姿を市民や地域、事業者等と共有できるわかりやすい計画
- (3) 経営資源の選択と集中を図る戦略的な計画
- (4) 行政評価と連動した効果的な進行管理ができる計画

計画の構成と期間



「事務事業」は、総合計画で定める「基本事業」の「目指す姿」を実現するための個別具体的な取組であり、本計画書内には記載していません。総合計画の推進に寄与する新たな事務事業等は、毎年度「実施計画」として策定・公表を行います。

第七次筑紫野市総合計画「政策・施策・基本事業」一覧表

掲載用語解説

目指す姿 : 「施策」が目指す、将来の筑紫野市の姿です。

指標名 : 「施策」が目指す姿の達成度を表す指標（モノサシ）です。

基準値 : 計画期間開始前の状況（基本的に令和4年度の実績）を示す数値です。

目標値 : 計画期間終了時点（令和9年度）の目標値です。

政策1 人が生まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

施策1 子育て支援の推進

目指す姿 子育てが楽しく、安心して子どもを生み育てることができています。

指標名	基準値	目標値
子育てが楽しいと思う保護者の割合	94.4%	95.0%

基本事業名

1. 幼児教育・保育の充実 **重点**
2. 切れ目のない相談支援の充実
3. 親子の健全育成の推進（母子保健）
4. 発達が気になる子への相談支援の充実
5. 地域における子育て支援の推進
6. 保護者負担の軽減
7. 子どもの権利保障の推進

施策2 学校教育の充実

目指す姿 子どもたちが確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みながら、充実した学校生活を送っています。

指標名	基準値	目標値
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合	児童 82.1% 生徒 81.0%	児童 86.0% 生徒 85.0%

基本事業名

1. 教育環境の整備 **重点**
2. 教職員の資質向上と働き方改革 **重点**
3. 確かな学力の育成 **重点**
4. 豊かな心の育成
5. 健やかな体の育成
6. きめ細やかな教育支援の推進
7. 地域と学校の協働促進

施策3 子ども・若者の健全育成

目指す姿 豊かな人間性や志を持ち、たくましく生きる力を備えた子ども・若者が育成されています。

指標名	基準値	目標値
自分の将来に夢や希望を持っている児童・生徒の割合	児童 92.8% 生徒 84.8%	児童 96.8% 生徒 88.8%
自立性（自己解決能力）を持った児童・生徒の割合	児童 92.8% 生徒 93.3%	児童 92.8% 生徒 96.3%
自立性（将来設計）を持った児童・生徒の割合	児童 87.0% 生徒 84.8%	児童 91.0% 生徒 88.8%

基本事業名

1. 子ども・若者の学習機会・体験活動の充実
2. 子ども・若者が自分らしくいられる地域づくり
3. 子ども・若者が安心して健全に成長できる環境づくり

政策2 市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり

施策4 スポーツの振興

目指す姿 スポーツ・レクリエーション活動をする市民が増えています。

指標名	基準値	目標値
週に1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行う市民の割合	53.1%	65.0%

基本事業名

1. スポーツ施設の充実 **重点**
2. スポーツ団体・指導者・ボランティアの育成 **重点**
3. 年齢や体力に応じた生涯スポーツの推進

施策5 生涯学習社会の推進

目指す姿 個人や地域のニーズに応じた学習を行う市民が増加し、学習成果が家庭・地域で活かされています。

指標名	基準値	目標値
生涯学習をしている市民の割合	36.8%	40.8%

基本事業名

1. 学習機会の充実
2. 地域で活躍する人材の発掘と育成
3. 読書活動の推進
4. 生涯学習施設の利用促進

施策6 歴史の継承と文化の振興

目指す姿 市の歴史・文化に関心を持つ市民が多くなっています。歴史・文化・芸術活動に多くの市民が取り組んでいます。

指標名	基準値	目標値
筑紫野市の主な文化財の認知割合	14.0%	20.0%
歴史・文化に関する活動に取り組んでいる市民の割合	23.8%	30.0%
文化・芸術に関する活動に取り組んでいる市民の割合	30.6%	40.6%

基本事業名

1. 文化財の保護・利活用の推進
2. 歴史学習の機会提供
3. 芸術文化活動の推進

政策 3

自然をまもり未来を育むまちづくり

施策 7 循環型・脱炭素社会の推進

目指す姿 環境負荷の少ない生活が実践され、人と自然にやさしい環境が保全されています。

指標名	基準値	目標値
市全体の温室効果ガス（CO ₂ ）排出量	741,431t-CO ₂	657,134t-CO ₂
ごみ処理における温室効果ガス（CO ₂ ）排出量	7,508t-CO ₂	5,728t-CO ₂

基本事業名

1. 5R の推進とごみ処理適正化
2. 省エネの推進と再エネの利用促進
3. 自然環境の保全と意識の醸成

施策 8 快適な生活環境の促進

目指す姿 快適で衛生的な生活ができるようになっています。

指標名	基準値	目標値
快適で衛生的な環境になっていると思う市民の割合	88.8%	90.0%

基本事業名

1. 公害の防止
2. ペット飼育の適正化

施策 9 安全で安心な水道水の供給

目指す姿 安全な水をいつでも安心して使うことができます。

指標名	基準値	目標値
水道水が安全・安心に使えると思う市民の割合	91.0%	91.0%

基本事業名

1. 水道水の安定供給
2. 水質の安全確保
3. 効率的な水道経営の推進

施策 10 汚水処理の推進

目指す姿 水辺環境が衛生的で住みやすいまちになっています。

指標名	基準値	目標値
河川の水質（BOD）鷺田川	0.6ppm	0.6ppm
河川の水質（BOD）宝満川（最下流）	0.9ppm	0.9ppm
河川の水質（BOD）原川	0.9ppm	0.9ppm
河川の水質（BOD）山口川	0.8ppm	0.8ppm
河川の水質（BOD）山家川	0.5ppm	0.5ppm

基本事業名

1. 下水道の整備
2. 管路・施設の適正な維持管理
3. 効率的な下水道経営の推進

政策 4

強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

施策 11 地域に活力をもたらす商工業の振興

目指す姿 創業・開業や市内における消費拡大等により商工業が振興し、地域経済が活性化しています。

指標名	基準値	目標値
市内事業所数	2,536 社	2,622 社
市内従業者数	26,550 人	27,251 人

基本事業名

1. 中小企業の経営支援
2. 市内・地元商店街における消費の拡大
3. 創業・雇用への支援

施策 12 農林業の振興

目指す姿 担い手農家の安定経営のもと、安全・安心な農産物が安定供給されるとともに、豊かな森林が保全されています。

指標名	基準値	目標値
担い手農家に集約されている農地面積の割合	49.1%	51.1%
農産物収穫量	3,553t	3,593t

基本事業名

1. 農業の持続的経営への支援と担い手づくり
2. 農業生産基盤の整備・保全
3. 有害鳥獣対策の充実
4. 地産地消の推進
5. 森林の保全

施策 13 観光の振興

目指す姿 観光客が増え、地域経済が活性化されています。

指標名	基準値	目標値
観光入込客数	1,547 千人	1,597 千人
観光入込客の一人当たり消費額	2,420 円	2,480 円

基本事業名

1. 観光資源の発掘と活用
2. 観光関連団体との連携強化
3. 観光情報の発信

政策 5

支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり

施策 14 高齢者福祉の充実

目指す姿 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるようになっています。
適切な介護サービスの提供が受けられ、その有する能力に応じた日常生活ができるようになっています。

指標名	基準値	目標値
65歳から74歳までの高齢者で自立している人の割合	96.7%	97.0%
介護保険利用者在宅生活している高齢者の割合	87.5%	88.7%

基本事業名

1. 生きがいづくりと介護予防の推進 **重点**
2. 日常生活・見守りの支援 **重点**
3. 認知症施策の推進 **重点**
4. 在宅医療・介護連携の推進 **重点**
5. 高齢者の人権擁護
6. 介護保険の適切なサービス利用

施策 15 障がい者福祉の充実

目指す姿 障がい者等の自立と社会参加が促進され、安心して暮らせる福祉のまちづくりが進んでいます。

指標名	基準値	目標値
障がい福祉サービス等の延べ利用者数	1,937人	2,670人
在宅で生活している65歳未満の障がい者の割合	96.7%	96.7%

基本事業名

1. 自立生活の支援
2. 地域生活支援の基盤づくり
3. 障がい者の人権擁護

施策 16 健康づくりの推進

目指す姿 健康寿命が延伸され、いつまでも健康に暮らすことができます。

指標名	基準値	目標値
健康だと思う市民の割合	79.9%	83.0%
平均自立期間	男性 81.1年 女性 85.5年	男性 82.4年 女性 88.4年

基本事業名

1. 生活習慣の改善
2. 疾病の予防と健康管理
3. こころの健康づくり
4. 健康を支える環境の整備

施策 17 地域共生社会の推進

目指す姿 地域共生社会の意義が理解され、互いを認め合い、支え合う福祉のまちづくりが進んでいます。

指標名	基準値	目標値
相互扶助で地域福祉ができていると思う市民の割合	16.5%	24.9%

基本事業名

1. 地域で支えあい、助けあう仕組みづくり
2. 様々なニーズを受け止め、支援するための仕組みづくり
3. 地域福祉を支え、推進する人や組織の担い手づくり

施策 18 セーフティネットの推進

目指す姿 社会保障制度の意義が理解され、必要な人が医療や生活保障を受けられています。

指標名	基準値	目標値
セーフティネットの取組に関する満足度	90.9%	91.7%

基本事業名

1. 国民健康保険の健全な運営
2. 後期高齢者医療費の適正化
3. 生活保護世帯の自立助長
4. 生活困窮者の支援
5. 市営住宅の維持管理

施策 19 人権尊重のまちづくり

目指す姿 人権が侵害されない市民生活ができるようになっています。
性にかかわらず、すべての人の人権がまもられるとともに、女性が社会で活躍できるようになっています。

指標名	基準値	目標値
この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	10.9%	8.0%
男女があらゆる分野で平等に参画できていると思う市民の割合	15.5%	25.0%

基本事業名

1. 人権教育及び啓発の促進
2. 同和問題の解決
3. ジェンダー平等の推進

政策 6

安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

施策 20 防災・減災対策の推進

目指す姿 行政及び市民・地域の防災対策が推進され、被害が最小限に抑えられています。

指標名	基準値	目標値
自然災害による被災世帯・事業所数	10件	10件
自然災害による死者・行方不明者・負傷者数	0人	0人
火災発生件数	10件	10件
火災による死者・負傷者数	3人	0人

基本事業名

1. 家庭・地域の防災力向上
2. 災害対応力の向上
3. 消防体制の整備
4. 国土強靱化対策の推進

施策 21 暮らしの安全対策の推進

目指す姿 犯罪や交通事故、消費者トラブルが少なく、安全な暮らしができるまちになっています。

指標名	基準値	目標値
市民生活に身近な犯罪の認知件数	273 件	377 件
消費生活関係のトラブルにあった市民の割合	8.7%	8.4%
人口千人当たりの交通事故発生件数	3.5 件	4.6 件

基本事業名

1. 犯罪に強い地域づくり
2. 交通安全対策の推進
3. 賢い消費者の育成
4. 空家解消の推進

施策 22 市街地の形成

目指す姿 計画的なまちづくりが推進され、住宅、商業、工業、農業、公園などのバランスがとれた市域が形成されています。

指標名	基準値	目標値
住宅、商業、工業、農業、公園などのバランスがとれた効果的な土地利用が進められていると思う市民の割合	54.5%	58.0%

基本事業名

1. 市街地の整備
2. 適正利用の指導
3. 公園の利用促進

施策 23 交通環境の総合的な整備と充実

目指す姿 誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境が整っています。

指標名	基準値	目標値
市内・市外への移動が円滑にできると思う市民の割合	84.5%	86.5%

基本事業名

1. 道路の整備
2. 道路の維持管理
3. 公共交通の利便性向上と利用促進 **重点**
4. 駅の利便性向上

政策 7 政策実現のための市民目線の行財政運営

施策 24 地域コミュニティによるまちづくり

目指す姿 地域住民が主体となり、地域課題の解決や地域の魅力を活かしたまちづくりが進められています。

指標名	基準値	目標値
地域（コミュニティ、行政区等）において、まちづくりが進められていると思う市民の割合	65.3%	73.3%

基本事業名

1. 地域コミュニティ活動の充実
2. 地域コミュニティ活動施設の利用促進
3. NPO・ボランティア活動の促進
4. 異文化理解の推進

施策 25 市民との情報共有の推進

目指す姿 行政情報がきちんと伝わって理解され、市民の意見が市政に活かされています。

指標名	基準値	目標値
市からの情報提供の内容や量が十分だと思う市民の割合	88.4%	90.4%
市民の意見を聴く機会や場についての満足度	78.1%	85.9%

基本事業名

1. 広報の推進 **重点**
2. 市の魅力の発信
3. 広聴の推進 **重点**
4. 情報公開の総合的推進

施策 26 計画行政と効率経営の推進

目指す姿 計画的かつ効率的な行財政運営により、持続可能な自治体経営が実現しています。

指標名	基準値	目標値
総合計画の目標値に対する達成度（施策）	75.4%	78.4%
総合計画の目標値に対する達成度（基本事業）	61.0%	70.0%
市民一人当たりの借入金残高	217 千円	213 千円

基本事業名

1. 経営資源の有効活用
2. 健全な財政運営
3. 自主財源の確保
4. 公有財産管理
5. 自治体DXの推進

施策 27 人材育成と組織の整備

目指す姿 業務に的確に対応でき、市民の期待に応えられる人材・組織となっています。

指標名	基準値	目標値
組織・職員の抱える問題・行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員の割合	80.6%	81.0%
職場内の協力体制が整っており、円滑に業務を推進できていると思う職員の割合	85.4%	86.0%

基本事業名

1. 人材育成による行政サービスの向上
2. 機能的な組織づくり
3. 働きやすい職場づくり

施策 28 公平・公正な事務執行

目指す姿 市が行う事務手続きや窓口業務などが適正に執行され、市民サービスが向上しています。

指標名	基準値	目標値
市が行う事務手続きや窓口業務が適正かつ円滑に執行されていると思う市民の割合	85.2%	85.7%

基本事業名

1. 戸籍・住民基本台帳の適正管理
2. 適正な課税事務
3. 適正な会計事務
4. 情報システムの適切な管理
5. 議会事務局の運営
6. 選挙管理委員会事務局の運営
7. 監査委員事務局の運営